

# 茨高標本群の歴史と展望

～茨高の教育方針「実物実験重視」の  
基礎を築いた小笠原利孝～

大阪府立茨木高校  
生物科



写真1 久敬会資料より

## 茨木高校標本群（略称「茨高標本群」）とは

- 本校の特色をなす標本群は、液浸・剥製・頭骨・化石・鉱物・実験器具など合わせて**約1,000点**に上る。（2024年現在）
- これらは明治30年に本校（旧制大阪府第四尋常中学、後の茨木中学）に赴任し、当時博物・地理を教えていた**小笠原利孝教諭**（安政4年[1857]～大正14年[1925]）（以下小笠原）と他の職員生徒の作業によるもの。**最盛期は18,307個**で大正4年[1915]展示用の博物標本室が拡張された。（『茨木高校百年史』（1995）より）
- その後戦争・災害を超えて歴代の教職員と生徒により現在まで引き継がれてきたものである。

## 現在

### 標本の状態…今も約1,000点以上が残る

(2024年4月現在 小笠原没後に収集された物も含む)

剥製標本 …鳥類、魚類、爬虫類、哺乳類など 約200点

角、頭骨…ウシ科、シカ科 約30点

液浸標本…ホルマリン漬けの魚類、甲殻類、貝類、サンゴ、内臓など 約650点

昆虫標本…蝶類、甲虫類など 約200点

←かつて昆虫部が盛んだった！

植物標本…海藻類、陸上植物など 約100点

その他鉱物、化石標本…生物科、地学科 実験器具類…物理科、化学科も含む

現在

茨木高校に保存されている

## 剥製標本

(東廊下)

旧制茨木中学時代に  
**小笠原利孝**が  
中心となって収集した



写真2 久敬会資料より



鳥類が多い



現在

## 廊下に展示されている標本

ヨーロッパバイソンなどの頭骨



アカシカの角



ペンギン  
パプアシワコブサイチョウ  
マクジャク

現在

# 珍しい生き物の標本もあります



トキ



カモノハシ



アシカ

現在

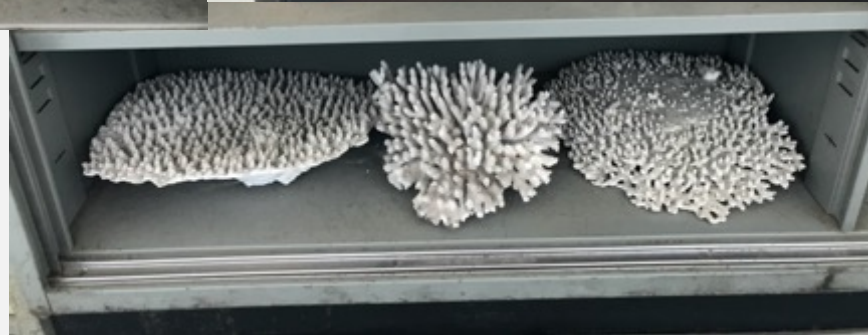
魚類、サンゴなど海の生き物も多い

ハリセンボン

ハコフグ

アマダイ

チョウザメ



サンゴ

ところが

2018年6月18日

大阪北部地震では…



本棚などが倒れ



液浸標本が破損しました



1996年以前

## 茨木高校標本群の価値

以前の評価では

採集地、採集年が不明の標本は価値がない  
→古い、壊れた標本などは捨てられていった

疑問

しかし  
小笠原の没後100年間、戦争や災害を乗り越えて  
代々受け継がれて残されてきたのには  
何か重要な意味があるのではないか

## 自然史的価値

(1996年当時の)

- ①世界にいる鳥全体で26目のうち、20目を網羅している  
= 世界中のたいていの鳥のグループが含まれている！

1996年（阪神大震災の翌年）

大阪自然史博物館の和田岳氏より、本校の  
鳥類剥製についてご指摘いただきました

(1996年度課題研究での「茨高の標本にどれ位の価値があるか」  
という生徒の質問に対する回答より)

自然史的価値

(1996年当時の)

## ②環境庁レッドデータブック記載種……24種

トキ、クロトキ、ライチョウ、トモエガモ  
シノリガモ、サンカノゴイ  
コジュリン、カササギ、メグロ  
ブッポウソウ、ミゾゴイ、クマゲラ、コアジサシ  
ウミスズメ、シラコバト、カラスバト、ミサゴ  
ハチクマ、ハヤブサ、コハクチョウ、コウノトリ  
オジロワシ、ルリカケス、エトピリカ



トキ

自然史的価値

(1996年当時)

③上記以外でも**国内での記録が少ない種・・10種**

カツオドリ、ヒメクイナ  
ミヤコドリ、オオカラモズ  
コウライウグイス  
アカオネツタイチョウ  
セグロアジサシ、シロアジサシ  
チュウジシギ、ミナミメンフクロウ



カツオドリ

## 自然史的価値

④ 上記以外で東南アジアからニューギニアにかけて分布する  
(と思われる) 種・・・10種類以上

パプアシワコブサイチョウ

オナガハチクマ

マクジャク

カワセミの仲間

など



マクジャク



パプアシワコブサイチョウ

## 茨高標本群を収集した小笠原利孝

川端康成(中18回)や高碓達之助(中4回)らが、旧制茨木中学時代に博物(今の生物地学)や地理などを教わった先生

- ・ 自然の土に親しませ、**学理と実際**の調和
- ・ **真実の人間**になる学問
- ・ 常に**最新の学説**を学び生徒に伝える  
当時「ダーウィンの進化論」などを教えた

『久敬会報第41号 小笠原先生追悼号』(大正14年)より

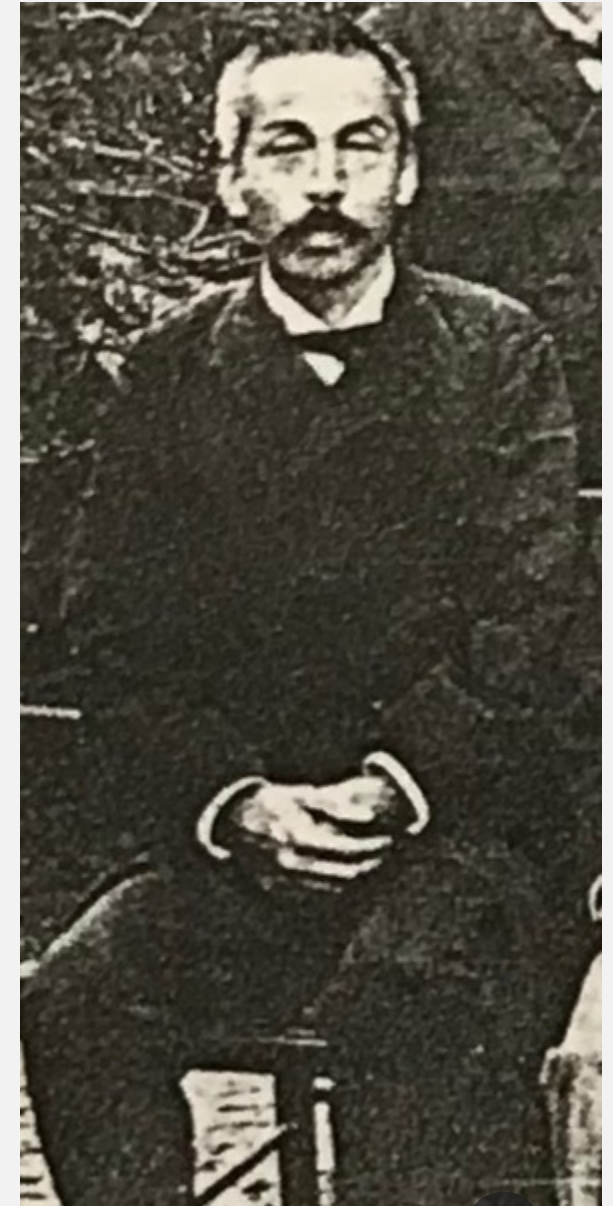


写真3 久敬会資料より

## 小笠原利孝の経歴

(2020年度までにわかっていただけ)

茨木高校同窓会『久敬会報第41号』(大正14年)より

- ① 1857(安政4)年 東京赤坂氷川町生まれ
- ② 1881~1886 岐阜県農学校教員

東大でイチョウの精子を発見した平瀬作五郎が同時期(1875~1887)に勤務していた※

※『平瀬作五郎の生涯』  
本間健彦(新泉社)2004より

NHK朝ドラ「らんまん」  
(2023年)の野宮さん

- ③ その後、愛知師範、群馬佐位名波小、静岡師範、佐賀師範学校で教員

## 小笠原の茨木中学時代の業績

(2020年度までにわかっていたこと) 『茨木高校百年史』より

- ① 1897～1924 の27年間、茨木中学校に博物・地理教員として勤務
- ② 1909 牧野富太郎と同時期に『实用新案普通植物図解』発行  
俵浩三『牧野植物図鑑の謎』平凡社（1999）より
- ③ 1913 学校園として植物園・温室・農場・庭園「養気園」を生徒の手で完成させる
- ④ 1915 博物標本を多数収集（18,307個）、標本室を拡張した
- ⑤ 実物・実験重視の授業をされ、桑田義備（中2回「染色体の研究」で文化勲章）や

高碓達之助・川端康成ら多くの卒業生に影響を与えた



小笠原の教育方針は、今も受け継がれています!

1925.9.10 小笠原逝去…2025年 没後100年になる



## 小笠原の業績③ 学校園として生徒の作業で「養気園」を作った



写真4 久敬会資料より

植物園・温室・農場・庭園がある学校園.....「養気園」の標柱には  
「大正元年12月生徒ノ作業ニ依リコレヲ築造ス」とある (『茨木高校百年史』)

「養気園散歩 桜は淡紅 紅葉は濃紅 新芽は新緑 何とも云へぬ快感」(川端康成)



写真5 『茨木高校百年史』より

「養気園」の標柱が立つ庭園  
(大正時代)

歴史

「生徒ノ作業ニヨリコレヲ築造ス」



写真6 『茨木高校百年史』 寄宿舍全景

農場で生徒が作業している様子がうかがえる

現在

現在も園芸部（園芸サークル）の生徒が農作業



園芸サークルの部員は兼部がほとんどなので  
主に昼休みに作業



トウモロコシの授粉

現在

## 「平成養気園」 (ビオトープ)



C館とD館の間の中庭には「北摂の里山」の樹々が植栽されている  
(「平成養気園」と命名)



1998～2010年に職員と生徒で作った池を  
生物部部員が技師さんと一緒にそうじ

現在

## 生物科と地学科で「校内の樹木を学ぶ授業」



プール前の荘川桜



校長室下の荘川桜（照蓮寺と光輪寺）

毎年4月に生物選択の3年生が、**荘川桜**、**笹部桜**を中心に校内の樹木を使って**高碓達之助**や**杉本伝先生**等の先人の歴史について学んでいる



笹部桜

### 笹部桜とは

御母衣ダム湖底に沈む運命の荘川桜を高台に移植する際、**高碓達之助**が当時「**桜博士**」と呼ばれていた**笹部新太郎**（北野中学17期）に協力を求めた。

その笹部が見つけた理想の桜。

歴史

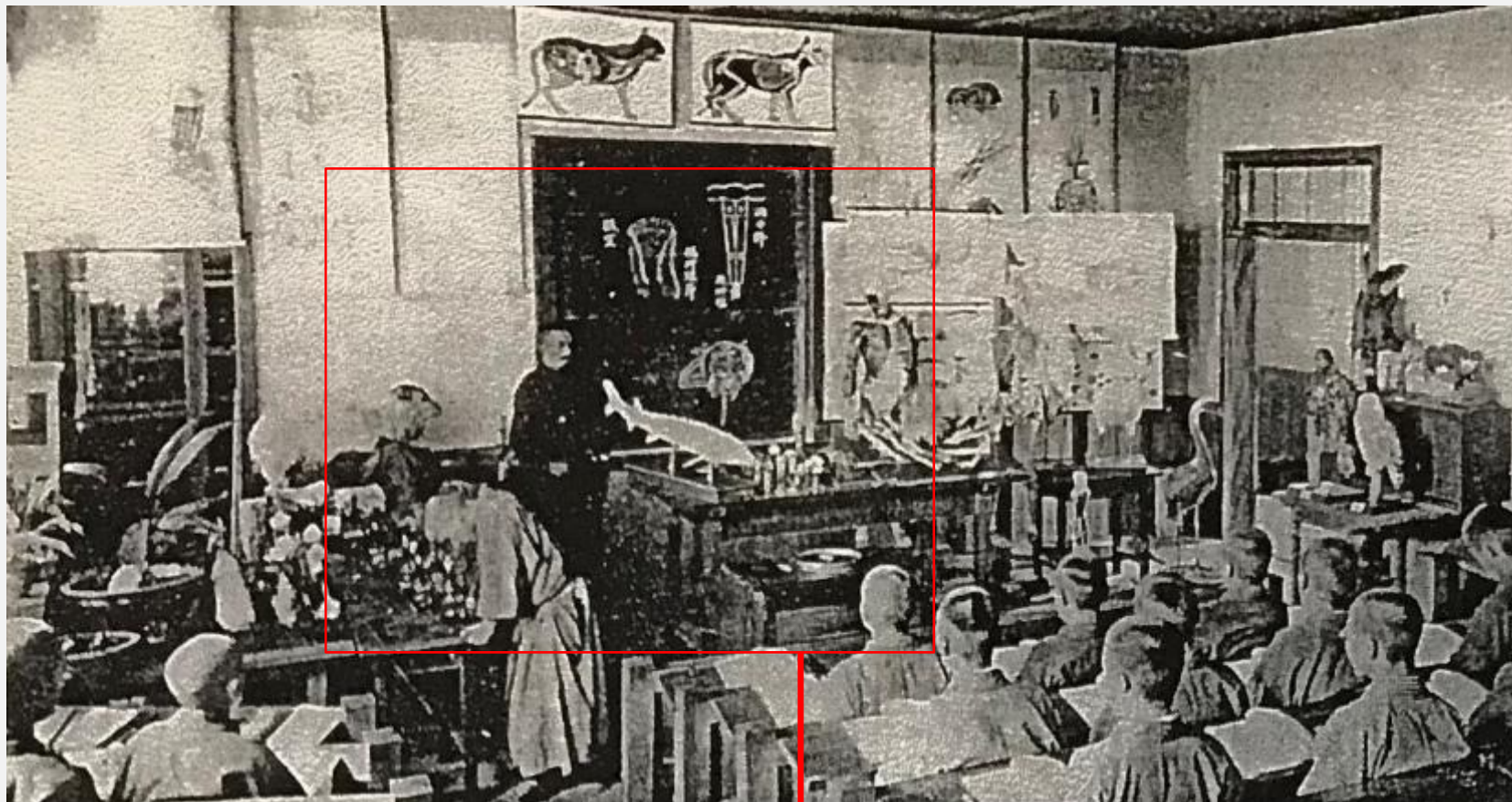
## 小笠原の業績④ 標本室

当時一万八千点にも及ぶ**博物標本**を収集し、茨木中学に**標本室**を作った



写真7 『大阪府立茨木高等学校 創立百十周年記念写真集「学校」』より

## 小笠原の業績⑤ 実物実験重視の授業

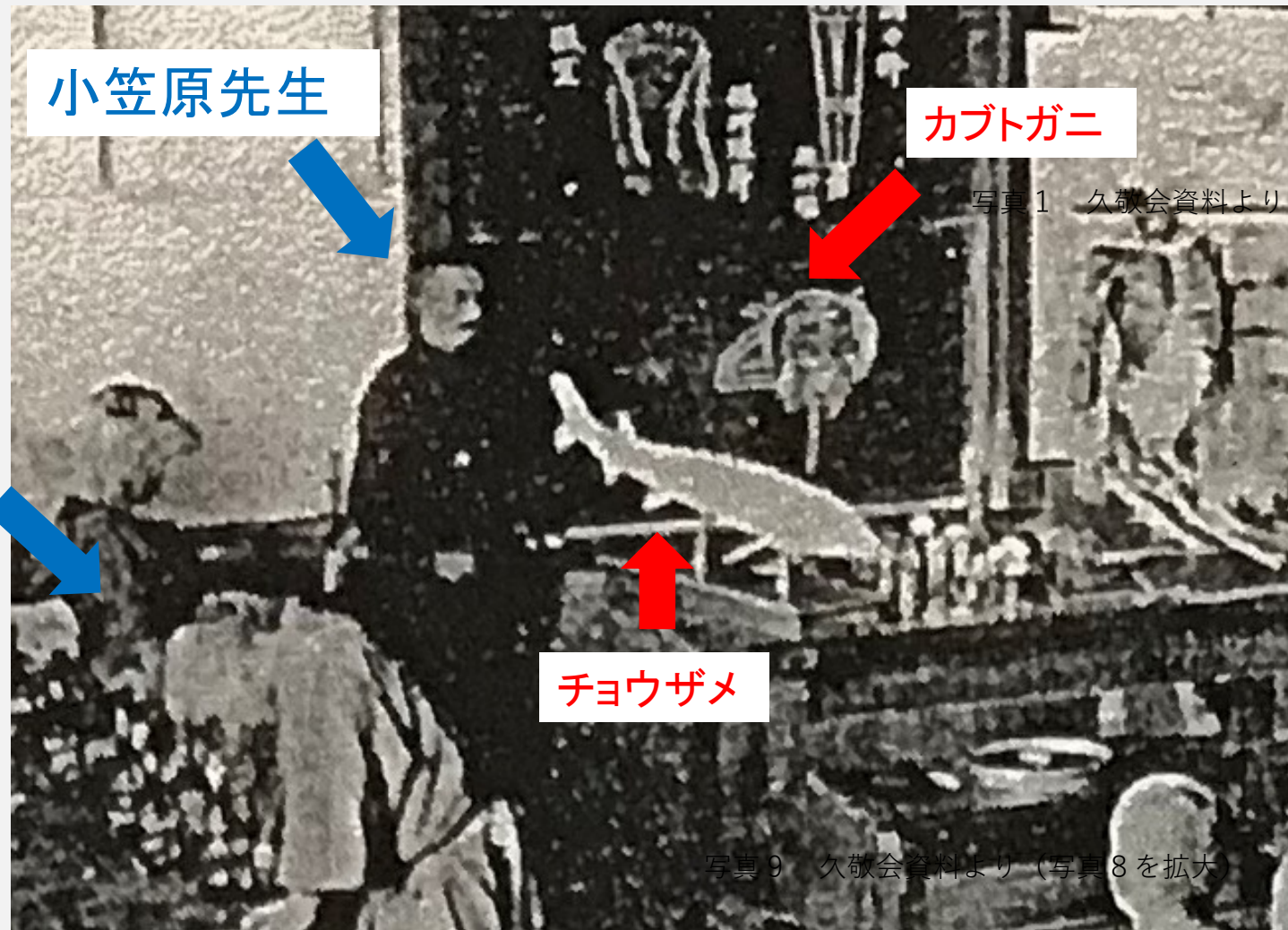


博物の授業 明治30年代（推定）の写真

写真8 『茨木高校百年史』より

拡大すると...

# 小笠原の業績⑤ 実物実験重視の授業 (拡大図)



小笠原先生

カブトガニ

写真1 久敬会資料より

顕微鏡を  
のぞいている  
生徒

チョウザメ

写真9 久敬会資料より (写真8を拡大)



現在

# 120年前の標本が今も残る (生物実験室)

高碓達之助のワニの飼育に影響を与えた標本たち？



カブトガニ ←  
↓

明治30年代の写真にいた



イルカの骨



チョウザメ

←明治30年代の写真にいた→

現在

# 掃除担当の生徒が標本もキレイにしてくれています



持ってみると予想以上に  
重い！

この角を支えている首の筋肉  
はすごい！

現在

## 現在の顕微鏡実習の様子



小笠原の教育方針は、今も受け継がれています！！

## 今後の展望

(2022年1月)

### 大阪大学総合学術博物館

資料部講師（薬学博士・学芸員）の  
伊藤謙先生が関心を持ってくださいました！



写真10

NHK「歴史発掘ミステリー—京都千年蔵」2022.4.29放送より

# 生物部 広報

## 博物学講座の開催

日時：2022年1月19日(水) 放課後

場所：生物実験室

講師：伊藤 謙 先生(大阪大学総合学術博物館)

内容：茨木高校にある標本及び小笠原先生の功績の大切さに触れ、博物学の素晴らしさについて講義させていただきます。

### 追記

○茨高、標本・小笠原先生の功績 保存プロジェクト始動!!

その名の通り 博物学講座を受け、茨木高校にある標本や小笠原先生の功績を整理・保存し、後世へつないでゆくプロジェクトです。

※数年間に渡る壮大なプロジェクトゆえ後輩に引き継ぐ形となります。

どちらが茨高生なら誰でも参加可なので是非!!

## 阪大博物館伊藤先生による提言

### ①採集地、採集年が不明でも

これだけ**歴史的経緯**がはっきりしている**大量の標本**は、**標本群**として、壊れたものでも**貴重**である

### ②特にウシ科シカ科の頭骨標本（ツノ）は貴重

近年ゲノム解析技術の進歩により、古い標本や化石でのDNA解析が可能になってきている

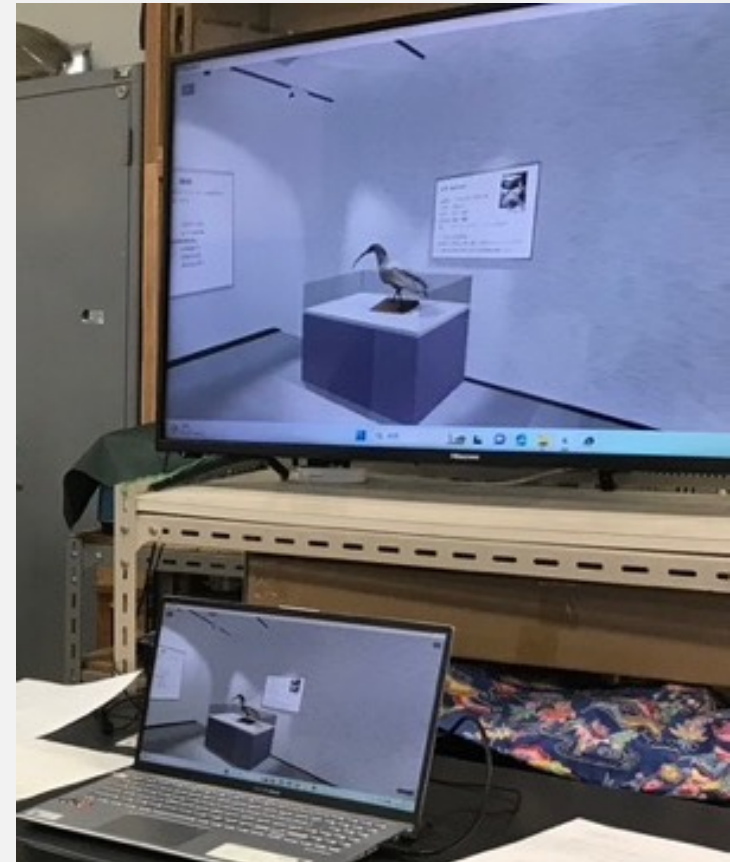
### ③博物館、動物園などの**専門機関**と連携して調査すべき

茨木高校創立130周年に向けて、生徒を巻き込んで論文等にまとめて発表するべきではないか

新たなチャレンジ！

## 2023年度の文化祭では標本の実物展示とともに

生物部と課題研究 博物館学グループが、自作の**バーチャルミュージアム**を展示



新たなチャレンジ！

武田科学振興財団助成金により  
バーチャルミュージアムにも挑戦しました！

## 生物部の作品



## 77期 課題研究 博物館学グループの作品



茨高の剥製を  
バーチャル博物館で展示

D館三階廊下に並ぶ剥製を展示したバーチャル  
博物館の紹介動画です。右記のQRコードを読  
み取ってぜひご覧になってください！

D館三階廊下にも足を運んでみてください！



課題研究地球科学3-A班



←こんな風に撮影しました！

協力 Virtualion株式会社

新たなチャレンジ！

# 『茨高ミュージアム』立ち上げました！

2024年5月、茨木高校公式ホームページに『茨高ミュージアム』をアップロードしました。

本校の「芸術」「自然」「文化」「歴史」と、77期課題研究グループ作成の「バーチャル美術館（美術部作品）」「バーチャル博物館（標本展示）」を紹介しています。

皆様ぜひ  
ご覧ください！

Global Leaders High School  
OSAKA IBARAKI HIGH SCHOOL  
大阪府立茨木高等学校

中学生の皆さまへ 在学生・保護者の皆さまへ 卒業生の皆さまへ

ホーム 茨高の教育 茨高の取組み 緊急連絡 進路状況 アクセス

トップ > 茨高の取組み > 茨高ミュージアム

### 茨高ミュージアム

出逢ったものすべてが、茨高生を育て、心を豊かにする糧となります。

★芸術	★自然	★文化	★歴史
★バーチャル美術館		★バーチャル博物館	

茨高の取組み

- 北辰プロジェクト
- 年間行事予定
- 進路を考えるために
- 生徒会行事
- 濱治野外行事

茨木高校HP > 茨高ミュージアム； [https://www2.osaka-c.ed.jp/ibaraki/folder\\_4/post-48.html](https://www2.osaka-c.ed.jp/ibaraki/folder_4/post-48.html)



**今年度も引き続き、部活動や課題研究などで  
茨木高校の歴史・文化についての探究を深めていく予定です。**

標本・資料に関するお問い合わせは  
大阪府立茨木高校生物科まで

**TEL 072-622-3423（代表）**

**FAX 072-623-0238**

情報提供もお待ちしています！